



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

「ロータリー：変化をもたらす」 Rotary: Making a Difference

2017-18年度 RI会長／イアン H.S.ライズリー RI.D2590ガバナー／湯川 孝則 横浜旭RC会長／滝澤 亮

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階/〒241-0821
TEL.045-465-6702/FAX.045-465-6712
http://yokohamaasahirc.cho88.com
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(榎岡田屋3階会議室)

例会日 毎週水曜日/12時30分～1時30分



旭区民まつりにて熊本みかん販売



熊本自転車支援



ガールスカウトとクリーン作戦

2017年8月2日 第2300回例会 VOL. 49 No. 5

■司 会 SAA 五十嵐 正

■開会点鐘 会 長 滝澤 亮

■斉 唱 君が代

友達になろう

SL 北澤 正浩

■出席報告

会員数	31名	本日の出席数	23名
本日の出席率	88.46%	修正出席率	96.43%

■本日の欠席者

大川、斎藤、佐藤（真）

■他クラブ出席者

二宮（麻）横浜中 RC

■ビジター

湯川 孝則様（第2590地区ガバナー）

高野伊久男様（地区副幹事）

鶴岡 武様（第5グループガバナー補佐）

■8月誕生記念祝



内田 敏会員 8.9

矢田 昭一会員 8.13

二宮麻理子会員 8.20

■会長報告

本日は湯川ガバナーをお迎えしての2300回目の例会であります。湯川孝則ガバナーの公式訪問であります。地区の今年度方針等をお教えいただきたいと思ひます。まだ新年度も始まって1か月余りでございますが、早い時期に湯川ガバナーをお迎えし、教えをいただくことにより、我々の今年度のロータリー活動の参考にしていきたくと思ひます。そして充実したロータリー活動に役立てたいと思ひます。

30日の日曜日には旭ジャズまつりが開催され多くの会員の方のご参加がありました。席等にご尽力のありました北澤会員にお礼を申し上げます。又、お集りの会員の皆様には日曜日というお忙しい日にもかかわらず、ジャズまつりにご協力いただき誠に有難うございました。

○地区関係

1) 米山奨学生・学友夏季レクリエーションのご案内が届いております。米山カウンセラーの後藤会員、お願い致します。

■幹事報告

1) 例会臨時変更のお知らせ

○横浜鶴見北ロータリークラブ

日時 8月17日(木)休会

■第1回会長幹事会報告 田川 富男

7/27、新横浜国際ホテルにて、第5グループ第1回会長幹事会が開催され、滝澤会長、田川が出席致しました。

鶴岡ガバナー補佐の司会進行のもと、湯川ガバナーの方針説明と7議題を討議しました。

その議題の中で、6クラブ合同例会開催に参加されるかどうか、各クラブで確認、その他、新会員、3年未満会員、会長幹事会も開催するのかの確認を依頼されました。

又、今期もマラソン大会を開催するとの事です。

■災害対策委員会 安藤 公一

8月1日付の読売新聞に、我が横浜旭ロータリークラブが熊本地震の被災地に送った横浜市の放置自転車についての記事が掲載されております。放置自転車などの生活用品を、地域で再活用（リユース）する動きが広まっているとの内容です。

15年の放置自転車数が全国市区町村で1位の横浜市としては、十分に使える物の廃棄を防ぐ手段としても有効な取り組みだと言えます。

■社会奉仕委員会 北澤 正浩

大川会員にお世話になり、県立旭高校の生徒2名が県立がんセンターで、一日看護師体験をおこなうことになりました。

■がんセミナー部会 大川 伸一

昨年度、市民を対象として開催したがんセミナーを今年度も開催します。

昨年度は「女性のためのがんセミナー」と銘打って、特に女子高校生を中心とした若い女性を対象としてがんについて知ってもらう事を主な目的として、二俣川駅ビル内のサンハートを会場として、マニラ友好委員会と共催で多くの聴衆を集めて行いました。

神奈川県立がんセンターの全面協力を得て、講師はがんセンターから3名の医師に依頼し、聴衆に分かりやすい内容で講演会を行い、さらに後半は女子高校生達にも参加してもらいラウンドディスカッションを行い、大いに盛り上がりました。

これをきっかけとしてがんに対する市民の知識が増えて、家庭でもがんを身近に感じてもらえるような広がり、ひいては健康への姿勢の向上が期待されました。

この結果を基に、今年度も旭ロータリーとして第2弾を開催する予定です。テーマや日時は未定ですが、現在、社会奉仕委員会、職業奉仕委員会を中心として部会を設けて企画を立案中です。

■「ゆり」について 二宮 登



○内田カナコゆり：写真下

戦後、横浜から世界に向けて輸出した日本を代表したゆりです。内田会員のご本家の内田昌男さんが開発したゆりです。



■ニコニコBOX（会員敬称略）

湯川孝則様（2590 地区ガバナー）／本日はお世話になります。横浜旭RCの皆様のご指導とご協力をいただきながら、各クラブと地区の

相乗効果で、より活性化したロータリーライフを目指してガンバル所存です。よろしくお願い致します。

鶴岡 武様（第5グループガバナー補佐）／今日は湯川ガバナーに第5グループガバナー補佐として同伴して参りました。宜しくお願い致します。

高野伊久男様（地区副幹事）／横浜西ロータリーの高野と申します。本日は地区副幹事として湯川ガバナーのお供として参加致します。宜しくお願い致します。

滝澤 亮／本日は湯川ガバナーの公式訪問です。よろしくご指導のほどお願い致します。高野副幹事、鶴岡ガバナー補佐、本日はご苦勞様です。

田川 富男／湯川ガバナー、鶴岡ガバナー補佐、高野地区副幹事、旭ロータリークラブにようこそ。よろしくお願い致します。

北澤 正浩／①湯川孝則ガバナー、鶴岡武ガバナー補佐、高野伊久男地区副幹事、ようこそいらっしゃいました。②横浜旭ジャズまつりに多くの方々のご来場いただきました。心より感謝いたします。来年も宜しくお願い致します。

吉原 則光／ガバナー湯川様、地区副幹事高野様、ご多用のところご来会くだされ有り難うございます。ご指導の程よろしくお願い致します。

後藤 英則／①湯川ガバナー、鶴岡ガバナー補佐、地区副幹事高野様、ようこそいらっしゃいました。②北澤さん、旭ジャズまつりでは大変お世話になりました。

福村 正／青木さん、先日はわざわざ診療所においでいただいたにもかかわらず、予防接種できずにすみません。あらためて注意事項を申し上げてから予約をとります。宜しくお願い致します。来院の際はご一報下さい。

太田 勝典／湯川ガバナーをお迎えして。

内田 敏／①湯川ガバナー、鶴岡ガバナー補佐、地区副幹事高野様、本日はご指導よろしく願いいたします。②誕生日祝いを頂き、

有難うございます。

関口 友宏／①湯川ガバナー、高野地区副幹事、鶴岡ガバナー補佐をお迎えして。②北澤さん、ジャズまつりお疲れ様でした。

兵藤 哲夫／北澤会員へ、旭ジャズまつりご苦勞様でした。北澤建設会社全体で地域貢献、そのボランティア精神に敬意を表します。

新川 尚／湯川ガバナー、鶴岡ガバナー補佐、高野地区副幹事ようこそ。

二宮麻理子／①湯川ガバナーようこそいらっしゃいました。②誕生日祝いをありがとうございます。

二宮 登／ガバナーをお迎えして。

倉本 宏昭／第5グループガバナー湯川様の来訪を歓迎して。

青木 邦弘／①湯川ガバナー、本日はよろしくお願い致します。②旭ジャズまつりに行きました。来年は移動例会をジャズまつり会場で行ったらいかがでしょうか？

佐藤 利明／湯川ガバナー公式訪問、ご苦勞様です。ご指導よろしくお願い致します。

五十嵐 正／湯川ガバナー、鶴岡ガバナー補佐をお迎えして。よろしくお願い致します。

増田嘉一郎／ガバナーをお迎えして。

安藤 公一／湯川ガバナー、高野地区副幹事、鶴岡ガバナー補佐、ようこそいらっしゃいました。本日は宜しくお願い致します。

市川 慎二／ガバナー湯川孝則様、ガバナー補佐鶴岡武様、本日はお忙しい中、お越し下さりありがとうございます。ご指導宜しくお願い致します。

本山 雄三／湯川ガバナー様、鶴岡ガバナー補佐様、高野地区副幹事様、ようこそお越し下さいました。よろしくお願い致します。

■「ガバナー公式訪問」 湯川 孝則様
○2017-18年度ライズリーRI会長テーマ
「ロータリー：変化をもたらす」

Rotary making a difference

国際会議1/15-21でカリフォルニア州サンディエゴで開催され、RI会長エレクト イアンH.S. ライズリー氏が発表したテーマです。



ライズリー氏はオーストラリア国内外の企業会計を専門とする Lan Riseley and Co. の社長を務め、2006年にはオーストラリアの地域社会への貢献が認められ、勲章を受けられました。持続可能な奉仕というロータリーの目標にとって、環境保護と温暖化抑止がきわめてじゅうようである。来年の「アースデイ」までに全会員に1本以上の植樹をしてほしい。我々は奉仕活動で成長・存続し、力をつけながら地域社会に、国に、そして世界に、「変化をもたらす」ことが大切である！とおっしゃっております。

それに沿って、私達のロータリーがより活性化され発展することを願い、皆様の力をお借りしながらともに語り合い頑張ってお参ります。宜しくお願いたします！

ともに語ろうロータリー

♪友達になろう♪

【共に語ろう】

ロータリーの活動の原点は交流と親睦です。ロータリーから何を学び実践するのか、一緒に語ろう！

【友に語ろう】

ロータリーの考え方や活動を知人・友人に語ろう！

ロータリーの公共的イメージを高めよう！

2017 - 18 年度地区方針

- 1) 戦略計画の推進
- 2) クラブ自主性の尊重
- 3) 会員増強とクラブ拡大
- 4) ロータリー財団活動の理解
- 5) ロータリー米山記念奨学事業の理解
- 6) ロータリーの未来を担う人材の育成

7) 会長賞への挑戦

1) 戦略計画の推進

ロータリーがこれからもダイナミックな組織でありつづけ、世界中の地域社会に貢献していくための将来への指針となるのが、ロータリーの戦略計画の位置づけ。

戦略的目標

- ・クラブのサポートと強化
- ・人道的奉仕の重点化と増加
- ・公共イメージと認知度の向上
親睦、高潔性、多様性、奉仕、
リーダーシップ

私たちは責任あるリーダーとして、世界の切実な課題を解決するために行動する。

2) クラブ自主性の尊重

◆ 2016 年規定審議会：

クラブ運営に大幅な柔軟性

2016年4月、世界中のロータリー地区の代表議員がシカゴに集まり、ロータリーの方針の見直しを行い、クラブ運営に大幅な柔軟性を認める決定をした。

◆ 例会の頻度、形式、出席に関する柔軟性

(例) 例会の曜日と時間を自由に決定する。

(月に最低2回以上)

奉仕プロジェクトまたは社交行事を「例会」とみなす。直接顔を合わせる例会、オンラインでの例会、その両方を交互に行う例会、あるいは両方の方法を同時に用いる例会を選択できる。

3) 会員増強とクラブ拡大

会員増強

- ・地区全体で会員数純増 100 名を目標とする。
- ・クラブ目標は、クラブの自主性を尊重し、クラブが自主的に、そして積極的に増強目標を設定してください。

クラブ拡大

- ・新しい形態のクラブ拡大にチャレンジ
- ① 衛星クラブの設立
- ② R 財団学友、米山学友、ローターアクターによるクラブ
- ③ プロバスクラブをロータリークラブへ

社会奉仕事業の一環として退職者およびセミ退職者のために作ったクラブを私たちの仲間に

4) ロータリー財団活動への理解

ロータリアンは寄付によってロータリー財団を支援し、当財団を通じて人道的・教育的奉仕活動を実践している。

<目標>

・年次基金寄付

1人当たり 120US ドル以上

・恒久基金寄付

ベネファクター各クラブ1名以上
(50名以上のクラブは2名以上)

・ポリオへの寄付

1人当たり 50US ドル以上

「私たちは、自分のためだけに生きるべきではありません。誰かのために“よいこと”をする喜びのために生きるべきです」

(ロータリー財団創設者アーチ・クランプ)

ポリオは撲滅できる。

みんなの協力があれば。

5) ロータリー米山記念奨学事業への理解

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、日本で学ぶ外国人留学生に対しロータリアンからの寄付金を財源に奨学金を支給し支援する奨学事業を行っている。その使命は、将来日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリーのよき理解者となる人材を育成すること。

年間の奨学生採用数は750人、事業費は12.6億円(2015-16年度)、国内では民間最大の国際奨学事業となっている。これまでに支援してきた奨学生数は、累計で19,197人(2016年6月)。その出身国は、世界124の国と地域に及んでいる。

<目標>

普通寄付 1人当たり 5,000円以上

特別寄付 1人当たり 20,000円以上

計 1人当たり 25,000円以上

6) ロータリーの未来を担う人材の育成

ロータリーの大きな役割は明日のリーダー

を育てること。青少年奉仕のいろいろなプログラムを通じ、地域社会やロータリークラブの未来を担う才能豊かな人材を育てる。

①全ての世代の人たちに、高い道徳的判断を奨励する。

②若い人たちの適切な願望や関心を認識し、理解する。

③地域でのプログラムを実施することで、若い人たちに機会を提供する。

常設プログラム

・青少年奉仕プログラム

新世代のためのRI常設プログラムには、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者養成(RYLA)、ロータリー青少年交換がある。

4つのプログラム

・インターアクト(Interact)

・ローターアクト(Rotaract)

・ロータリー青少年指導者養成

(Rotary Youth Leadership Awards)

・ロータリー青少年交換(Youth Exchange)

→活性化、充実

7) 会長賞への挑戦

<受賞資格>

ロータリー戦略計画の3つの優先項目

①クラブのサポートと強化

いずれか、次の4項目を達成すること

・ロータリークラブ・セントラルで少なくとも10の目標を設定する。

・クラブの戦略計画を更新または立案する。

・会員数の純増:

会員数50名以下のクラブは少なくとも1名、
会員数51名以上のクラブは少なくとも2名の
会員純増を達成する。

・女性会員の純増:

会員数50名以下のクラブは少なくとも1名、
会員数51名以上のクラブは少なくとも2名の
純増を達成する。

・40歳未満の会員の純増: 会員数50名以下の
クラブは少なくとも1名、会員数51名以上の
クラブは少なくとも2名の純増を達成す

る。

- ・例会以外の活動に会員が参加する。
- ・新しいロータリークラブまたはロータリー地域社会共同隊（RCC）を提唱（または共同提唱）する。
- ・インターアクトクラブまたはローターアクトクラブを提唱する。

②人道的奉仕の重点化と増加

いずれか、次の4項目を達成すること

- ・ポリオ関連の募金活動または支援呼びかけイベントを開催する。
- ・グローバル補助金または地区補助金を利用したプロジェクトを少なくとも1件提唱する。
- ・環境に焦点を当てたプロジェクトを少なくとも1件実施する。
- ・より大きな成果を出すために、地域内のロータリークラブと協力する。
- ・持続可能なプロジェクトにロータリーファミリーに参加してもらう。
- ・ロータリー財団へのクラブからの寄付を少なくとも10%増やす。
- ・ロータリー財団のいずれかの基金に25ドル以上を寄付する会員の数を増やす。
- ・年次基金への会員一人あたりの平均寄付額を100米ドルとする。
- ・ロータリーの「アイデア応援サイト」を利用して、プロジェクトを支援する。

③ロータリーの公共イメージと認知度の向上
いずれか、次の4項目を達成すること

- ・ロータリーのブランドリソースセンターを活用してイメージを高める。
- ・クラブのホームページを定期的に更新して、ロータリーの活動成果を伝える。
- ・ポリオデーを支援するためにイベントを開催し、その周知を図る。
- ・市民団体、ロータリー学友等のための交流会を少なくとも1回開く。
- ・企業または政府・地方自治体組織とプロジェクトで協力する。
- ・地域で重要な問題を扱った地域フォーラム

やセミナーを開催する。

- ・クラブのプロジェクトやイベント、または募金活動を地元メディアに報道してもらう。
- ・少なくとも1名のロータリー青少年交換学生を派遣または受け入れるか、少なくとも1名のRYLA参加者を支援する。

今年度の会長賞は、これらの優先項目にかかわる活動をしたクラブが対象です。

○地区大会のお知らせ

ともに語ろうロータリー

日時 2017年11月10日(金)～11日(土)

場所 パシフィコ横浜会議センター

【10日(金)】16時20分～17時20分

会議センター3階

講演 「無言館」のこと

－戦没画学生が伝えるもの

講師 作家 無言館館主 窪島誠一郎氏

【11日(土)】16時20分～17時20分

会議センターメインホール

講演 「大切なのは今」

講師 虎屋17代当主

代表取締役 黒川 光博氏

記念行事

- ・ポリオ撲滅のための

チャリティーディナーショー

日時 2017年10月4日(水)

場所 横浜ロイヤルパークホテル

参加費 15,000円

出演 ロータリー学友

世界で活躍する若き演奏家の皆さん

- ・九州北部豪雨被災地支援チャリティーゴルフ大会

日時 2017年10月16日(月)

場所 磯子カントリークラブ

参加費 11,000円（チャリティー含む）

■次週の卓話

8/16(水)休会

8/23(水)二宮 登

「日本の国連加盟とマニラの大聖堂」

週報担当 吉原 則光